

全世界的な歩く巡礼旅ブームや世界文化遺産登録に向けた取り組みにより、本地域の広域周遊ルート形成計画「スピリチュアルな島～四国遍路～」のコア・コンテンツである四国遍路巡礼体験（歩き遍路）を目的とした訪日外国人旅行者の急増が想定され、過疎地域等における宿泊予約や道案内等、歩き遍路特有のニーズに対応した旅ナカでのサポート体制の整備が求められる。今回、昨今のスマートフォンを活用した旅行スタイルへの変化を踏まえ、ICTを活用した実証事業（Webを通じた情報交流・動態分析等）を行うことで、歩き遍路の受入環境改善を図る。

## 事業実施地域における背景・課題

### ○広域的背景

スペイン・サンティアゴ巡礼路、熊野古道等に見られる「歩き旅ブーム」の中、四国遍路でも、外国人の増加が顕著であるが少人数にとどまっている。この増加トレンドを加速させ、名実共に四国のキラコンテンツに育てることが喫緊の課題。

### ○地域的課題

過疎地を含む全長1,200kmを踏破する巨大コンテンツであるが故に、旅ナカのサポートが不足しているとの共通認識がある。外国人遍路の周遊動態や特有のニーズ等を明らかにすることで、旅行者の増加を目指した受入環境整備を前進させる。

## 効果検証・事業評価

○ICTを活用したサポートおよびデータ収集により以下のことを検証。  
(スマートフォン貸与者37人、Webアンケート協力者45人)

- ・【Webサポートの有効性】四国遍路が初回の外国人にとって、前半部分で旅程、宿泊、荷物、歩くペース等のニーズが、中盤以降では観光、交通情報サポートのニーズが高いことが判明し、必要性・有効性が確認できた。
- ・【サポートの負荷】1人20～40日の巡礼につき、質問対応に8時間程度の負荷が生じた。有償サービスでは更に質問等が増えることも想定される。
- ・【常時Web接続サービスの有効性】スマートフォンを経路の検索、情報連絡等に活用しており、有効性は高いが採算ベースに乗るほどの料金は払いたくないとの意向が読み取れた。
- ・【潜在的観光ニーズ】外国人遍路の行動は想定以上に多様であり、巡礼路近辺の観光にとどまらず、しまなみサイクリングで広島まで足を伸ばす者も見られ、四国遍路をフックとする四国全域の観光振興に期待が持てる。

## 次年度以降の取組

本調査結果は、令和元年度別事業において造成した、遍路の開始地点である徳島県で外国人遍路向けトレーニングプログラムの運営（イーストとくしま観光推進機構が実施）に活用する。また、旅ナカでの情報提供も重要であるが、現時点ではWEBによるサポートの実現可能性の点で課題がみられることから、まずは、四国運輸局等本事業の事業主体が連携して、別事業で造成した四国内各地の情報拠点でのサポート体制の構築を図る。

## 事業概要

### ○事業主体

四国運輸局、四国旅客鉄道(株)  
(一財)百十四経済研究所

### ○事業実施期間

令和元年8月～令和2年3月

### ○取組概要

#### ①事業実施態勢の構築

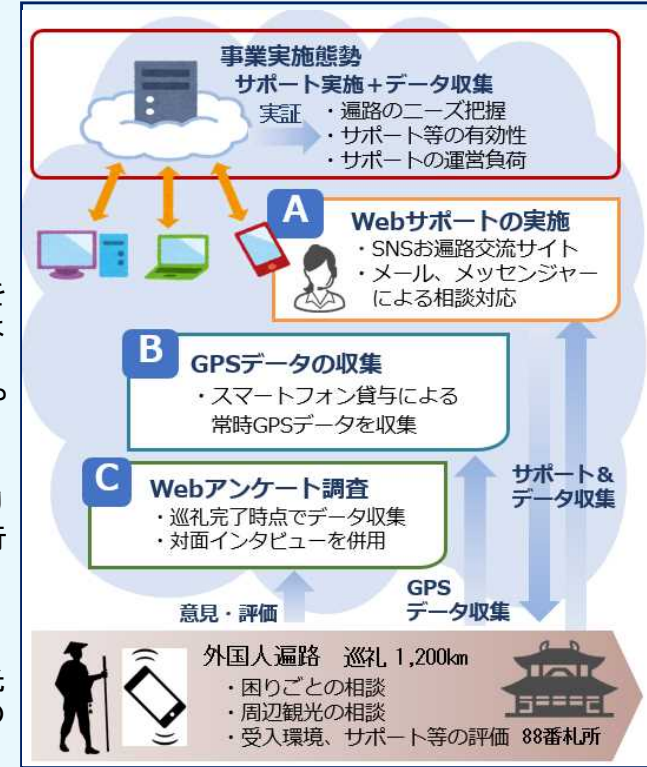
外国人遍路にスマートフォンを貸与し、[A] Webサポートによる困りごと情報の収集、[B] GPSデータの収集、[C] 意見や評価の収集を実施。

#### ②Webサポート分析

困りごとデータ等の収集により外国人遍路のニーズの把握を行うとともに、Webサポートの有効性・負荷を検証。

#### ③GPS動態分析

周遊動態分析により、潜在観光ニーズ、巨大観光コンテンツの運営のあり方等を検証。



### 【環境整備のあり方】効果検証・事業評価を踏まえた方向性

- ✓ 情報管理やサービスを統括する組織の構築
  - 四国全域の遍路情報を収集し、遍路が必要とするサービスを提供。
    - ・旅マエにスタート地点で情報交換場所の提供やガイダンスを実施
    - ・旅ナカでWebサポートサービスを提供（情報拠点との連携は必須）
- ✓ 潜在観光ニーズへの対応
  - ・周辺観光ニーズに応えた情報提供
  - ・1,200kmの巨大コンテンツを、利用しやすいサイズにした提供を検討